

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第6部門第3区分

【発行日】平成21年9月24日(2009.9.24)

【公表番号】特表2009-505198(P2009-505198A)

【公表日】平成21年2月5日(2009.2.5)

【年通号数】公開・登録公報2009-005

【出願番号】特願2008-525640(P2008-525640)

【国際特許分類】

G 06 F 17/50 (2006.01)

【F I】

G 06 F 17/50 6 5 4 D

G 06 F 17/50 6 5 4 Z

【手続補正書】

【提出日】平成21年8月5日(2009.8.5)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

電子回路の自動設計において使用する一組の最適化シナリオを作成する方法であって、複数の異なる電子回路のそれぞれに対して最適化シナリオを進化させるために進化的アルゴリズム又はアルゴリズム群を使用するステップと、

前記異なる回路のために進化させた一つ以上の前記最適化シナリオを、設計中に電子回路を最適化するために使用する一組の最適化シナリオに含めるステップと、を備える方法。

【請求項2】

請求項1記載の方法であって、

複数の個別回路からなる組に対して単一の最適化シナリオを進化させる、方法。

【請求項3】

請求項1又は2に記載の方法であって、

同じ回路又は回路のグループに対して複数の最適化シナリオを進化させる、方法。

【請求項4】

請求項1~3のいずれかに記載の方法であって、

進化させた対象である前記回路以外の電子回路又は回路群を最適化するために、進化済み最適化シナリオを使用可能か評価し、

その評価に基づいて、前記最適化シナリオを、使用する前記一組の最適化シナリオに含める又は含めないこととする、方法。

【請求項5】

請求項1~4のいずれかに記載の方法であって、

前記一組の最適化シナリオに含めるために、進化動作の途中で分かれた最適化シナリオ又はシナリオ群を選択する、方法。

【請求項6】

請求項1~5のいずれかに記載の方法であって、更に、

前記一組の複数の最適化シナリオから二つ以上の最適化シナリオを使用して、最適化対象である電子回路の設計の態様の最適化を実行するステップと、

前記複数の最適化により決定された最適化結果の一つを、前記回路設計の態様に対して

使用する最適化として選択するステップと、
を備える方法。

【請求項 7】

請求項6に記載の方法であって、
特定の対象回路向けに導出された最適化シナリオを、前記対象回路とは異なる回路向け
の最適化を実行するために使用する、方法。

【請求項 8】

設計対象の電子回路を最適化する方法であって、
特定の対象回路向けに導出された最適化シナリオを、前記対象回路とは異なる回路を最
適化するために使用するステップを備える方法。

【請求項 9】

請求項7に記載の方法であって、
前記対象回路ではない前記回路を最適化する時に、導出の目的となった前記対象回路に
対する前記最適化シナリオの実行の形とは異なる形で、前記最適化シナリオを実行する、
方法。

【請求項 10】

電子回路の自動設計において使用する一組の最適化シナリオを作成する装置であって、
複数の異なる電子回路のそれぞれに対して最適化シナリオを進化させるために進化的アルゴリズム又はアルゴリズム群を使用する手段と、

前記異なる回路のために進化させた一つ以上の前記最適化シナリオを、設計中に電子回
路を最適化するために使用する一組の最適化シナリオとして提供する手段と、
を備える装置。

【請求項 11】

請求項10に記載の装置であって、
複数の個別回路からなる組に対して単一の最適化シナリオを進化させる手段を備える、
装置。

【請求項 12】

請求項10又は11に記載の装置であって、
同じ回路又は回路のグループに対して複数の最適化シナリオを進化させる手段を備える
、装置。

【請求項 13】

請求項10～12のいずれかに記載の装置であって、
前記進化済み最適化シナリオを評価し、それらの一つ以上を、その評価に基づいて、使
用すべき前記一組の最適化シナリオに含める手段を備える、装置。

【請求項 14】

請求項10～13のいずれかに記載の装置であって、
進化させた対象である前記回路以外の電子回路又は回路群を最適化するために、進化済
み最適化シナリオを使用可能か評価し、
その評価に基づいて、前記最適化シナリオを、使用する前記一組の最適化シナリオに含
める又は含めないこととする、装置。

【請求項 15】

請求項10～14のいずれかに記載の装置であって、
前記一組の最適化シナリオに含めるために、進化動作の途中で分かれた最適化シナリオ
又はシナリオ群を選択する手段を備える、装置。

【請求項 16】

請求項10～15のいずれかに記載の装置であって、更に、
前記一組の複数の最適化シナリオから二つ以上の最適化シナリオを使用して、最適化対
象である電子回路の設計の態様の最適化を実行する手段と、
前記複数の最適化により決定された最適化結果の一つを、前記回路設計の態様に対し
て使用する最適化として選択する手段と、

を備える、装置。

【請求項 1 7】

請求項1 6に記載の装置であって、

特定の対象回路向けに導出された最適化シナリオを、前記対象回路とは異なる回路向けの最適化を実行するために使用する手段を備える、装置。

【請求項 1 8】

設計対象の電子回路を最適化する装置であって、

特定の対象回路向けに導出された最適化シナリオを、前記対象回路とは異なる回路を最適化するために使用する手段を備える装置。

【請求項 1 9】

請求項1 7又は1 8に記載の装置であって、

前記対象回路ではない前記回路を最適化する時に、導出の目的となった前記対象回路に対する前記最適化シナリオの実行の形とは異なる形で、前記最適化シナリオを実行する手段を備える、装置。

【請求項 2 0】

請求項1 ~ 9のいずれかに記載の方法、及び／又は、請求項1 0 ~ 1 9のいずれかの装置を使用して設計された電子回路。

【請求項 2 1】

電子回路を構築する時に請求項1 ~ 9の何れかに記載の方法を使用するステップを備える、電子回路を構築する方法。

【請求項 2 2】

請求項1 0 ~ 1 9の何れかの装置と、電子回路を構築する手段と、を備える、電子回路を構築する装置。

【請求項 2 3】

データ処理手段において動作させた時に請求項1 ~ 9、2 1のいずれかに記載の方法を実行するためのコンピュータソフトウェアコード部分を備えるコンピュータプログラム要素。